

2023年7月26日

通貨ニュース

IMF 世界経済見通し:ソフトランディングの可能性が高まる

見通しのアップデートに関して

7月25日に国際通貨基金(IMF)は世界経済見通し(WEO)のアップデート版を公表した。IMFは毎年4月と10月にWEOの公表を行い、1月と7月には直近のWEOのアップデートを行っている。WEOのアップデート版によると、世界経済の2023年GDP成長率見通しに関して、前回(2023年4月)の+2.8%(前年比、以下同様)から+3.0%へ上方修正された(図表1、2、3)。また、2024年に関しては+3.0%と不変だった。

先進国全体では、2023年のGDP成長率見通しが前回の+1.3%から+1.5%へ上方修正された(図表1、4、6)。国・地域別で確認すると、英国(▲0.3%→+0.4%)や米国(+1.6%→+1.8%)に加え、カナダ(+1.5%→+1.7%)など、全体的に見通し引き上げが目立った。なお、先進国に関し、2024年のGDP成長率に関しては前回の+1.4%から不変だった。

新興途上国全体では、2023年のGDP成長率見通しが前回の+3.9%から+4.0%へ小幅に上方修正された(図表1、5、7)。国・地域別では、ブラジル(+0.9%→+2.1%)やメキシコ(+1.8%→+2.6%)に加え、ロシア(+0.7%→+1.5%)などで上方修正が目立った。他方で、サウジアラビア(+3.1%→+1.9%)の下方修正要因もあり、全体としては小幅な上方修正にとどまったようだ。なお、新興途上国に関し、2024年のGDP成長率に関しては前回の+4.2%から+4.1%へ小幅に下方修正された。

片や、世界のインフレ率(消費者物価指数)に関してWEOのアップデート版によると、2023年に+6.8%(前年比、以下同様)、2024年に+5.2%と予測されている(図表1、8~11)。前回からそれぞれ▲0.2%、+0.3%の修正だ。先進国全体では、2023年に+4.7%、2024年に+2.8%との予測。新興途上国全体は、2023年に+8.3%、2024年に+6.8%との予測になっている。先進国では2024年の見通しが引き上げられた一方、新興途上国は2023年の見通しが引き下げられた。実際、一部の新興国においてはインフレ鈍化の進行から利下げサイクルが近づいている状況であり、整合性の取れる内容だろう。

IMFは、成長率見通しに関し、ダウンサイドリスクが大きい旨を引き続き指摘した。具体的には、①賃金上昇圧力や天候不良に伴う高インフレの継続、②金融引き締め長期化に伴う金融ストレスの高まり、③中国経済回復の鈍化、④地政学的分断の深刻化、等を指摘した。その一方で、4月以降、ダウンサイドリスクは後退し、同時に上振れリスクが高まっているとも指摘した。具体的には、①エネルギー価格の予想以上の下落、②コアインフレの早期の低下、③求人数減少に伴う労働市場の緩和、等を経済の上振れリスクとして列挙した。さらに、パンデミック期に積みあがった過剰貯蓄の存在や、中国当局が公表している景気刺激策が今後さらに強化される可能性にも言及し、それらが世界経済の

金融市場部

長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

下支えをする見込みだと指摘した。

金融システム不安は後退も、信用収縮は継続

なお、今回の WEO アップデート版では、巻末の Box 欄において「GLOBAL FINANCIAL STABILITY UPDATE」と題した分析を行っている。まず、各国の金融環境指数を提示し、米銀の破綻や利上げ局面の長期化を受けても、金融環境は緩和状態が継続していると指摘した(図表 12)。また、緩和状態にある金融環境が高インフレと資産価格の急騰を招く可能性にも言及している。他方で、先進国における銀行の融資状況を例に挙げ、高金利が信用状況の収縮につながっていると説明した。実際、米ダラス連銀の『Banking Conditions Survey』や、25日にECBが公表した『euro area bank lending survey』、BOEの『Credit Conditions Survey』を確認する限り、主要先進国の信用収縮は劇的ではないにしても悪化している可能性が高いだろう(図表 13~15)。足許では米景気を中心にソフトランディングを見込む向きが優勢であり、IMFも今回その可能性に関し言及はしたが、商業用不動産やノンバンク、新興国債務など、一過性で忘れられがちだが大きな波乱をもたらしうるリスク要因には引き続き注意を払う必要があるだろう。

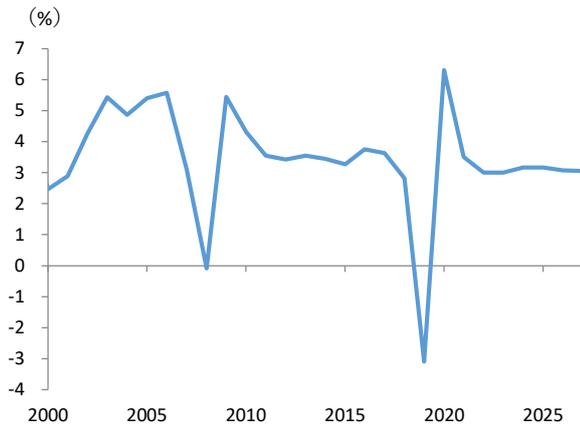
図表 1: IMF 世界経済見通しの詳細

IMFの成長率見通し(暦年ベース、%)	見通し			2023年4月見通しとの比較	
	2022	2023	2024	2023	2024
世界	3.5	3.0	3.0	0.2	▲ 0.0
先進国	2.7	1.5	1.4	0.2	0.0
米国	2.1	1.8	1.0	0.2	▲ 0.1
ユーロ圏	3.5	0.9	1.5	0.1	0.1
ドイツ	1.8	▲ 0.3	1.3	▲ 0.2	0.2
フランス	2.5	0.8	1.3	0.1	0.0
イタリア	3.7	1.1	0.9	0.4	0.1
スペイン	5.5	2.5	2.0	1.0	0.0
日本	1.0	1.4	1.0	0.1	▲ 0.0
英国	4.1	0.4	1.0	0.7	0.0
カナダ	3.4	1.7	1.4	0.2	▲ 0.1
その他先進国	2.7	2.0	2.3	0.2	0.1
新興途上国	4.0	4.0	4.1	0.1	▲ 0.1
アジア新興途上国	4.5	5.3	5.0	0.0	▲ 0.1
中国	3.0	5.2	4.5	▲ 0.0	0.0
インド	7.2	6.1	6.3	0.2	▲ 0.0
ASEAN5	5.5	4.6	4.5	0.1	▲ 0.1
欧州新興途上国	0.8	1.8	2.2	0.6	▲ 0.3
ロシア	▲ 2.1	1.5	1.3	0.8	0.0
ラテンアメリカ・カリブ諸国	3.9	1.9	2.2	0.3	▲ 0.0
ブラジル	2.9	2.1	1.2	1.2	▲ 0.3
メキシコ	3.0	2.6	1.5	0.8	▲ 0.1
中東・中央アジア	5.4	2.5	3.2	▲ 0.4	▲ 0.3
サウジアラビア	8.7	1.9	2.8	▲ 1.2	▲ 0.3
サブサハラアフリカ	3.9	3.5	4.1	▲ 0.1	▲ 0.1
ナイジェリア	3.3	3.2	3.0	▲ 0.0	▲ 0.0
南アフリカ	1.9	0.3	1.7	0.2	▲ 0.1
世界貿易額(財・サービス)	5.2	2.0	3.7	▲ 0.4	0.2
消費者物価					
世界	8.7	6.8	5.2	▲ 0.2	0.3
先進国	7.3	4.7	2.8	0.0	0.2
新興途上国	9.8	8.3	6.8	▲ 0.3	0.3

(資料) IMF、Macrobond、みずほ銀行

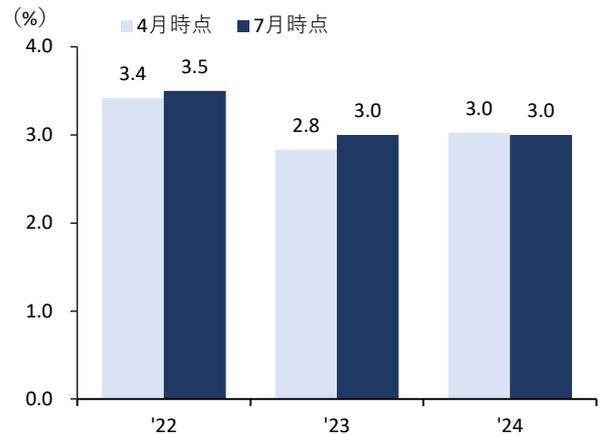
※インドについては、データと予測を財政年度ベースで表示しており、2011年以降の GDP は 2011-2012 財政年度を基準とした市場価格による GDP に基づく。

図表 2:世界の GDP 成長率の推移



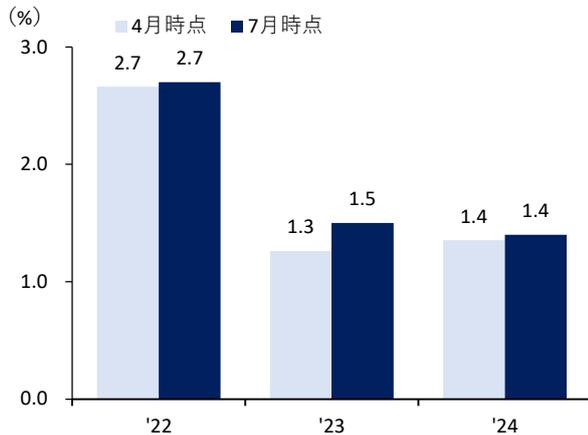
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行
 ※2023年以降は IMF の予測値

図表 3:世界の GDP 成長率予測



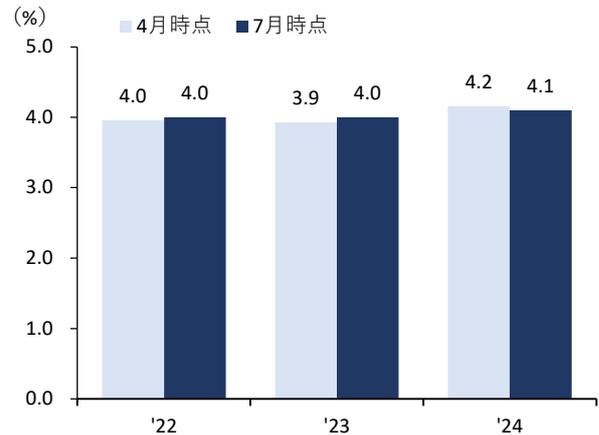
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 4:先進国の GDP 成長率予測



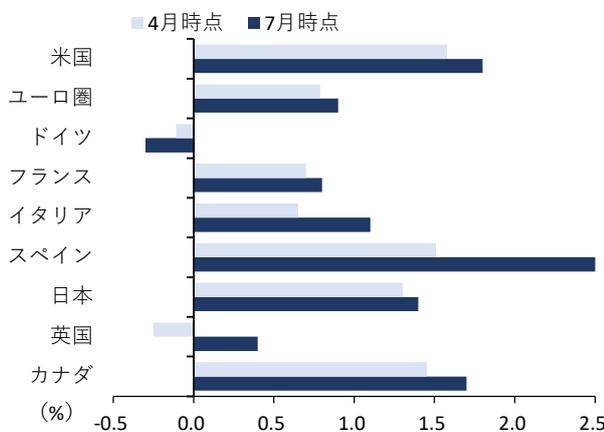
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 5:新興途上国の GDP 成長率予測



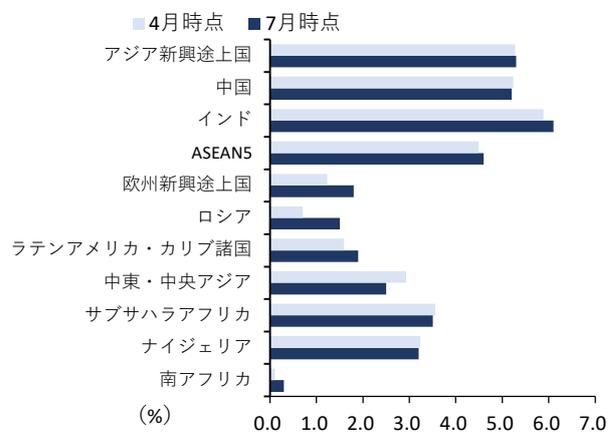
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 6:先進国の GDP 成長率予測(23年、個別国・地域)



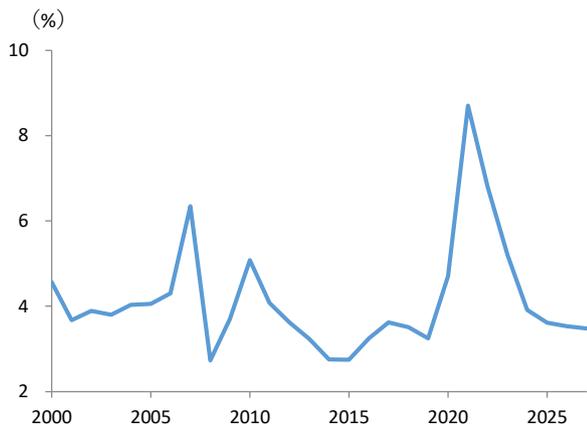
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 7:新興途上国の GDP 成長率予測(23年、個別国・地域)



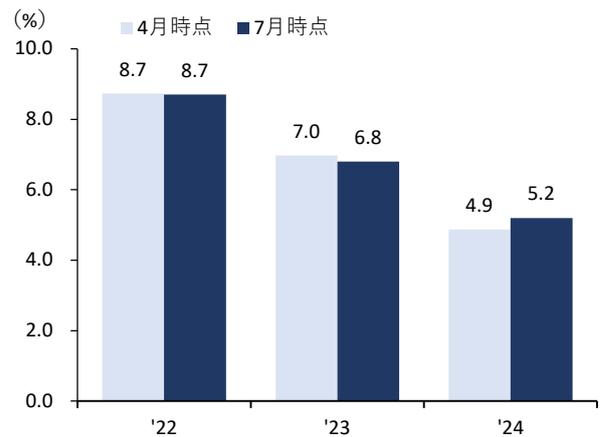
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 8:世界のインフレ率の推移



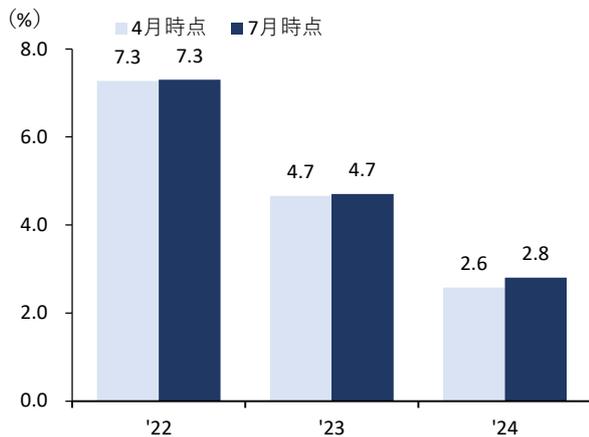
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行
 ※2023年以降はIMFの予測値

図表 9:世界のインフレ率予測



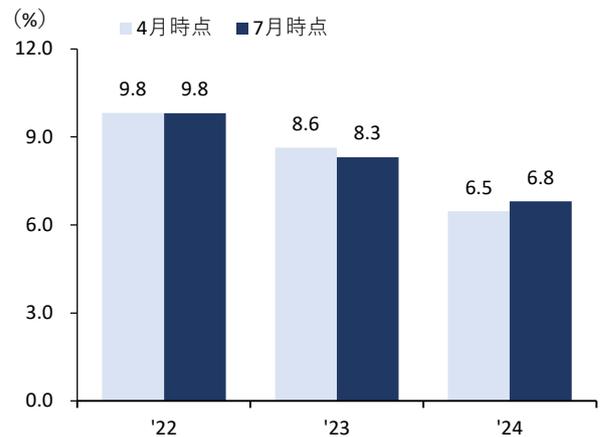
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 10:先進国のインフレ率予測



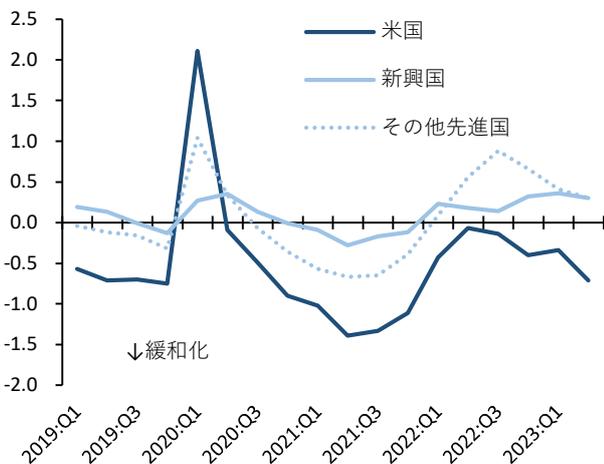
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 11:新興途上国のインフレ率予測



出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 12:金融環境指数



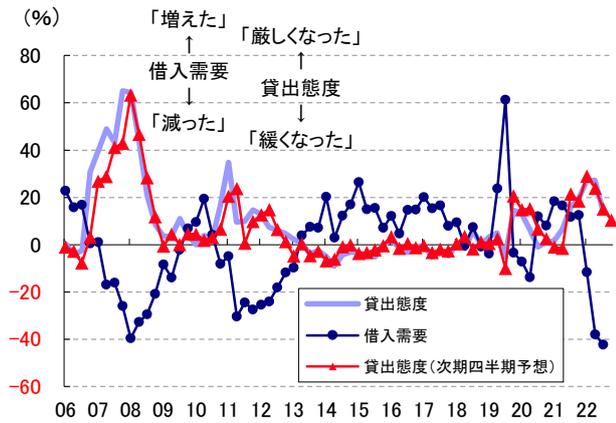
出所: IMF、みずほ銀行

図表 13:米銀の企業向け貸出基準



出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 14: 欧州銀行の企業向け貸出態度および借入需要



出所: Datastream、みずほ銀行

図表 15: 英銀行の企業向けの貸出態度



出所: Macrobond、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。